

V.1. 教員の教育研究・社会貢献活動

(2016年11月1日～2018年3月31日)

(3) 日本語・日本文化専攻

[日本語学・言語学]

堀川 智也 (HORIKAWA Tomoya) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語学研究、日本語学特別研究

〈共通教育担当科目〉基礎教養科目

〈学部教育担当科目〉日本語学講義、日本語学演習、言語学概論、日本語

[研究活動]

〈研究テーマ〉日本語の意味と文法

〈所属学会〉日本言語学会、日本語文法学会、日本語教育学会、日本語学会、日本認知言語学会

[その他の活動]

〈学会活動〉日本語文法学会大会副委員長、日本認知言語学会理事

岩井 康雄 (IWAI Yasuo) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語・日本文化特別研究A B、日本語学特別研究A B、日本語学研究VA、日本語研究指導A B

[研究活動]

〈研究テーマ〉①語彙カテゴリーと音韻 ②破裂音の有声性

岸田 泰浩 (KISHIDA Yasuhiro) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉対照言語学研究II A、日本語研究指導A/B、対照言語学特別研究A/B

[研究活動]

〈研究テーマ〉類型論(格、明証性)、コーカサスの言語(アルメニア語、グルジア語)

〈所属学会〉日本言語学会、日本語日本文化教育研究会、ユーラシア言語研究コンソーシアム

[その他の活動]

〈管理運営〉日本語日本文化教育センター総務委員長、大阪大学日本語・日本文化国際フォーラム実行委員

〈社会貢献活動〉大阪YWCA専門学校日本語教師育成講座講師

中田 一志 (NAKATA Hitoshi) 教授

http://cjl.osaka-u.ac.jp/~hitoshi_nakata/

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語学研究、日本語学特別研究、日本語研究指導

〈日本語日本文化教育センター担当科目〉日本語学講義、日本語日本文化専門演習、自主研究、日本語・日本文化研究指導

[研究活動]

〈研究テーマ〉現代日本語文法と日本語文法教育

〈所属学会〉日本語日本文化教育研究会、日本言語学会、日本語学会、日本語文法学会、

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

- ・ 編集『複数の体系から見た日本語研究ワークショップ報告論集』第1号 (2017年3月)
 - ・ 編集『複数の体系から見た日本語研究ワークショップ報告論集』第2号 (2018年3月)
- 〈論文〉
- ・ 単著「話し手と聞き手の関わりから見た終助詞「よね」」『日本語・日本文化研究』26、pp. 1-15. (2016年12月)
 - ・ 単著「終助詞研究のあり方——「よね」を例にとって——」『間谷論集』11、pp. 25-40. (2017年03月)
 - ・ 単著「終助詞「よね」の機能——直接形を中心に——」『日本語・日本文化研究』27、pp. 1-15. (2017年12月)
 - ・ 単著「否定疑問文における二つの論理関係」『日本語・日本文化研究』27、pp. 16-28. (2017年12月)

[その他の活動]

〈管理運営〉日本語・日本文化専攻委員会総務専門部会代表

〈学会活動〉日本語日本文化教育研究会代表

今井 忍 (IMAI Shinobu) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語学研究IVA、日本語研究指導 A、日本語研究指導 B、日本語学特別研究 A、日本語学特別研究 B

[研究活動]

〈研究テーマ〉日本語の形態法に関する認知言語学的研究

〈所属学会〉日本言語学会、日本認知言語学会、国際認知言語学会、関西言語学会

[研究業績]

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・「日本の大学におけるインクルーシブ教育の現状」第 30 回日本語日本文化教育研究会研究発表会、2017 年 10 月 7 日

[その他の活動]

〈管理運営〉日本語日本文化教育センター学務委員長

〈社会貢献活動〉大阪 YWCA 専門学校日本語教師養成講座講師

三原 育子 (MIHARA Ikuko) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語学研究、日本語学特別研究、日本語研究指導

〈学部教育担当科目〉日本語学講義、日本語実習、日本語・日本文化研究指導（以上、於 CJLC）

[研究活動]

〈研究テーマ〉日本語の機能語の類がもつ統語的仕組みについて

〈所属学会〉日本語学会、日本語文法学会、日本言語学会、日本語教育学会、関西言語学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・「日本語における「名詞」再考 ―統語的観点から―」『EX ORIENTE』Vol. 25.

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・「言葉から見る日本文化―表現のウラに潜む文学の教養」“Interlinking Linguistics and Literature -- A tool to ‘read’ Japanese literary texts” 於 Jawaharlal Nehru University

- ・「日本の国際戦略と日本語教育・留学生教育」富山大学人文学部国際シンポジウム「東アジア社会の日本語、そして日本―日本語のプレゼンス向上と日本観の変容―」於 富山大学

- ・「日本語っておもしろい！―形と意味と働きと―」於 ランシット大学

- ・「文法構築における悩み―業務のシステム化・体系化へのヒント―」大阪大学×りそな銀行「人文・社会科学系研究から考える企業の課題」於 大阪大学

[その他の活動]

〈管理運営〉学務委員、広報委員、人権委員、Uプログラムコーディネーター、Gプログラムコーディネーター、共同利用拠点教育実習指導部門長、その他各種WG等メンバー（以上、於 CJLC）

〈社会貢献活動〉大阪 YWCA 「日本語教師養成講座」講師

山川 太 (YAMAKAWA Futoshi) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語学研究、日本語研究指導

[研究活動]

〈研究テーマ〉 日本語動詞における意味と統語の連関、ヴォイスとアスペクトに関する諸問題

〈所属学会〉 日本言語学会、日本語学会、日本英語学会

[その他の活動]

〈社会貢献活動〉 大阪YWCA専門学校日本語教師養成講座講師

薦 清行 (TSUTA Kiyoyuki) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 日本語学研究VB・日本語研究指導 A/B・日本語学特別研究 A/B

〈共通教育担当科目〉 日本語学講義X・日本語学講義XIII・日本語実習 5A・日本語日本文化専門演習・日本語・日本文化研究指導

[研究活動]

〈研究テーマ〉 日本文学・前近代の言語と文化

〈所属学会〉 訓点語学会・日本語学会・東方学会・萬葉学会・日本語日本文化教育研究会

[研究業績]

〈論文〉

- ・ 薦清行 『『毘沙門堂本古今集註』声点の文献学的検討』『中世古今和歌集注釈の世界』（勉誠出版、2018年3月）
- ・ 薦清行 「中世文化人たちの蘇東坡と黄山谷」『日本語・日本文化』44（2017年3月）
- ・ 薦清行 「日本語教育の文法体系と寺村秀夫：活用の場合」『日本語・日本文化研究』26（2016年12月）

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・ TSUTA Kiyoyuki “Chinese Anecdotes in the Shōmono (commentaries written in kana on Chinese classic books)” 15th EAJS International Conference 2017, Lisbon, 2017年9月1日[EN]
- ・ TSUTA Kiyoyuki “Chinese Anecdotes in the Mōgyū-shō (the commentaries written in kana on Meng-qi(Beginner's Guide))” 5th Japanese studies conferences; JAPAN - PREMODERN, MODERN AND CONTEMPORARY, Bucharest, 2017年9月6日[EN]

〈研究助成〉

- ・ 2016年度科学研究費補助金若手研究B「中世抄物の註釈の展開—『山谷幻雲抄』『黄氏口義』の比較による—」（研究代表者）
- ・ 2017年度科学研究費補助金若手研究B「中世抄物の註釈の展開—『山谷幻雲抄』『黄氏口義』の比較による—」（研究代表者）
- ・ 2016年度科学研究費補助金基盤研究B「中世近世国文学における中国文学受容の研究—和漢聯句と抄物を中心として—」（研究分担者）
- ・ 2016年度科学研究費補助金基盤研究C「中世における漢故事のパラフレーズ」（研究分担

者)

- ・2017年度科学研究費補助金基盤研究C「中世における漢故事のパラフレーズ」(研究分担者)

[その他の活動]

〈学会活動〉訓点語学会抄物講習会講師(2017年8月)・日本語日本文化教育研究会運営委員

〈社会貢献活動〉大阪YWCA専門学校講師

儀利古 幹雄 (GIRIKO Mikio) 講師

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語研究指導、日本語学研究

〈共通教育担当科目〉教養としての日本語

〈学部教育担当科目〉日本語、日本語学講義、日本語学概論、日本語学演習

[研究活動]

〈研究テーマ〉日本語のアクセント、日本語諸方言における音声的变化

〈所属学会〉日本言語学会、日本音声学会、日本音韻論学会

村田 真実 (MURATA Mami) 講師

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語学研究VIB、日本語研究指導 A/B

[研究活動]

〈研究テーマ〉日本語諸方言のアクセントの条件変化、方言と日本語教育

〈所属学会〉日本語学会、日本音声学会、日本方言研究会、日本行動計量学会、日本音韻論学会、文理シナジー学会、日本言語学会、訓点語学会、近畿音声言語研究会、日本語日本文化研究会、早稲田大学日本語学会、徳島大学国語国文学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・村田真実(2017)「香川県三豊市詫間町の4拍語アクセントについて：低接式の音声変種を中心に」『音声言語の研究(言語文化共同研究プロジェクト)』11、85-93

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・村田真実(2017)「日本語教育における方言教育—方言を通して日本の多様性を知る—」、第5回トルク諸国日本語教育セミナー、於アンカラ大学、トルコ共和国

〈研究助成〉

- ・研究分担者：日本学術振興会 科学研究費 基盤研究(B)「集团的知性における類推・分析能力を強化するプロジェクトマネジメント研究(研究課題番号：26282037)」、研究代表者：桐山聡(鳥取大学)

[その他の活動]

〈学会活動〉 日本語日本文化教育研究会 事務局

山泉 実 (YAMAIZUMI Minoru) 講師

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 対照言語学研究 IA・B

〈共通教育担当科目〉 教養としての日本語

〈学部教育担当科目〉 日本語 5、日本語 15、日本語 IIa・b、対照言語学概論、対照言語学講義 a・b、対照言語学演習 a・b、教科教育法（国語）b

[研究活動]

〈研究テーマ〉 認知意味論・語用論、レトリック

〈所属学会〉 日本語用論学会、日本語文法学会、日本認知言語学会、日本語学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・「佐藤信夫の「逆隠喩」をめぐって：関連性理論の語彙語用論の観点から」『語用論研究』19 pp. 1–21.
- ・“Reconsidering the layered structure of the clause in Japanese: Focusing on the NP-wa and left-dislocation,” *EX ORIENTE*, 25 (in press).
- ・「意味拡張における説明概念としてのシネクドキの役割とメタファーとの関係」『日本語・日本文化研究』27: 50–66.
- ・「佐藤信夫の「逆隠喩」をめぐって：語彙語用論の観点から」『日本語用論学会第19回大会発表論文集』pp. 231–235.

〈書評・論評・紹介〉

- ・「言語でコミュニケーションする方法—語用論の必要性—」『日本研究論集』15: 35–52.

〈口頭発表〉

- ・“Where is the Japanese NP-wa in the LSC? From the viewpoint of left-dislocation,” *Role and Reference Grammar 2017*, University of Tokyo at Komaba.

〈研究助成〉

- ・「コピュラ文名詞句の解釈多様性を扱える認知語用論の構築」（科研費 17K17842、若手研究(B)・研究代表者。2017年4月~継続中）

[その他の活動]

〈学会活動〉 日本語用論学会 『語用論研究』18号外部査読委員

〈管理運営〉 日日専攻総務委員、合同専攻教務委員、合同専攻コンテンツ管理委員、合同専攻ネットワーク管理委員

〔日本語教育学〕

真嶋 潤子 (MAJIMA Junko) 教授

<https://majimajunko.sakura.ne.jp/bukosite/home.html>

〔教育活動〕

〈研究科担当科目〉日本語教育学実践論 IAB、日本語・日本文化特別研究 AB、日本語教育学研究指導

〈共通教育担当科目〉日本語教育学入門 B

〈学部教育担当科目〉日本語教育学講義 IIIab、日本語教育学特別演習 IIab、日本語実習 13 (秋冬学期)、日本語教育学演習 a (春夏学期)

〔研究活動〕

〈研究テーマ〉第二言語習得論、CEFR とその応用、外国にルーツのある児童生徒への言語教育

〈所属学会〉日本語教育学会、母語・継承語・バイリンガル教育 (MHB) 研究会、日本語政策学会、第二言語習得研究会、アメリカ外国語教育学会 (ACTFL)、アメリカ日本語教師会 (ATJ)、ヨーロッパ日本語教師会 (AJE)、ドイツ語圏大学日本語教育研究会 (Ja-H)、カナダ日本語教育振興会 (CAJLE)、日本語日本文化教育研究会、大阪大学言語社会学会、コンピュータ利用教育学会 (CIEC)

〔研究業績〕

〈共著〉

・ 真嶋潤子 「CEFR の国内外の日本語教育へのインパクト」 泉水浩隆編『ことばを教える・ことばを学ぶ -複言語・複文化・ヨーロッパ言語教育参照枠 (CEFR) と言語教育-』南山大学地域研究センター共同研究シリーズ 10 pp.249-274 行路社 (2018年3月) 分担執筆

・ 真嶋潤子 ・小森万里・大和祐子・高井美穂 『日本語教育学研究総論 (2018年度版)』大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻 日本語教育学系域 2018年3月

・ 真嶋潤子 ・小森万里・筒井佐代・大和祐子 『日本語教育学研究総論 (2017年度版)』大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻 日本語教育学系域 2017年3月

〈論文〉

・ 真嶋潤子 「「母語喪失」と子どものアイデンティティ」『チャイルドヘルス』Vol.21, No.1, pp.50-51 治療と診断社 (2018年1月)

・ 真嶋潤子 ・トゥ トゥ ヌエ エー「日本で子育てをする国際結婚家庭における親の教育姿勢とその影響 -ミャンマー人母親二人の事例比較-」『日本語・日本文化研究』第 27号 pp.39-49 (2017年12月)

・ 真嶋潤子 ・櫻井千穂「CLD 児の複数言語能力の関係について -大阪府下の公立小学校での調査研究より-」『間谷論集』11号 pp.41-57 (2017年3月)

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・パネル発表 真嶋潤子 「日本で多言語環境を生かしてマルチリンガル人材に育った大学生の成功要因 –国立大学で中国語を専攻する中国ルーツの5名の事例研究より–」同志社大学 日本語・日本文化教育センター主催 シンポジウム 『グローバル時代に必要なマルチリンガル人材の育成』 2018年3月
 - ・口頭発表 真嶋潤子 「日本語母語児童と CLD 児童の「話す力」の調査」 2017年度 DLA 科研公開研究会「JSL 評価参照枠の精緻化にむけて」(科研(B) 代表:伊東祐郎) 東京外国語大学 2018年3月
 - ・講演 真嶋潤子 「大学院における留学生指導について–大阪大学大学院言語文化研究科 日本語・日本文化専攻の事例をもとに」京都文教大学大学院 FD 研修会 2018年2月
 - ・特別講演 真嶋潤子 「日本語学習から第二言語習得研究へ」ネルー大学 国際セミナー「言語学と文学の内的接続 –日本語のテキストを「読む」ということ」 2017年11月 ネルー大学 (インド)
 - ・パネル発表 真嶋潤子・今井忍・モニカ・ウンケル「日本語教育に関わるインクルーシブ教育の日独比較」『日本語・日本文化教育研究会 第30回研究発表会』 (2017年10月 於:大阪大学中之島センター)
 - ・口頭発表 真嶋潤子・櫻井千穂 「日本で多言語環境に育つ年少者の話す力の二言語調査」 『EAJS2017 第15回国際会議』ヨーロッパ日本学会、ヨーロッパ日本語教師会 2017年9月 於:リスボン新大学 (ポルトガル)
 - ・口頭発表 真嶋潤子「外国人児童生徒の複数言語能力の縦断的研究 –全体像について–」 「子どものバイリンガル教育、継承語教育に関する2つの科研の合同報告会」(2017年3月 於:大阪大学中之島センター)
- 〈研究助成〉
- ・平成28年度–平成32年度科学研究費補助金基盤研究(B) 研究代表者:伊東祐郎 課題番号:16H03433 「JSL 対話型アセスメント DLA の聖地かと外国人児童生徒のための教育的枠組みの構築」 分担研究者
 - ・平成29年度–31年度科学研究費補助金基盤研究(C) 代表:櫻井千穂 課題番号:17K0287 「文化言語の多様な子どものための対話型アセスメントの教育的効果に関する実証研究」 分担研究者
 - ・大阪大学国際共同研究促進プログラム 代表:真嶋潤子「日本語教員養成課程のカリキュラム開発に関する日独比較研究」クロスアポイントメント制度による短期雇用:モニカ・ウンケル氏(ケルン大学、ドイツ)
 - ・受託研究「日本語学習者の日本語・日本文化理解に関する評価のための基礎研究」代表:真嶋潤子 一般財団法人アジア国際交流奨学財団
- [その他の活動]
- 〈管理運営〉日本語・日本文化専攻長、講座代表者会議、研究企画推進委員会、計画・評価委員会、大学院入試委員会、図書委員会、キャンパスハラスメントに関する相談員、

ASEAN キャンパス WG、協定校コンタクトパーソン（ジョージア大学、ジョージア州立大学、ボーフム大学、トロント大学、キエフ国立大学）、CJLC 拠点運営委員会、科研相談員、未来戦略機構リーディング大学院「超域イノベーションプログラム」委員
〈学会活動〉母語・継承語・バイリンガル教育（MHB）研究会理事・事務局
〈社会貢献活動〉箕面市国際交流協会理事、咲耶会文芸大賞審査委員、第2回「TOPJ 中高生スピーチコンテスト」審査員（ハノイ、ベトナム 2017年3月）

筒井 佐代 (TSUTSUI Sayo) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語教育学研究総論、日本語教育学基礎論IIAB、日本語教育学特別研究 AB、日本語研究指導 AB

〈共通教育担当科目〉日本語教育学入門 A

〈学部教育担当科目〉日本語 1、日本語 12、日本語 13、日本語教育学概論、日本語教育学講義Iab、日本語教育学講義IIa、日本語教育学特別演習Iab、日本語教育実習

[研究活動]

〈研究テーマ〉日本語の会話の構造分析と日本語教育への応用、日本語の会話における補助動詞の用法

〈所属学会〉社会言語科学会、日本語教育学会、日本言語学会、日本語用論学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・筒井佐代 (2017) 「言語行動の中の補助動詞「V-テクル」-日本語教育における文法項目の扱いを考える-」『社会言語科学会第40回大会発表論文集』pp.114-117

〈共著〉

- ・真嶋潤子・小森万里・筒井佐代・大和祐子『日本語教育学研究総論（2017年度版）』大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻 日本語教育学系域 2017年3月

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・「言語行動の中の補助動詞「V-テクル」-日本語教育における文法項目の扱いを考える-」社会言語科学会第40回研究大会（招待発表）（於 関西大学）2017年9月17日

[その他の活動]

〈管理運営〉日本語・日本文化講座代表

〈学会活動〉日本語日本文化教育研究会運営委員、社会芸術学会理事、日本語教育学会審査・運営協力員

小森 万里 (KOMORI Mari) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語教育学方法論IIA、日本語教育学方法論IIB、日本語研究指導 A、

日本語研究指導 B

[研究活動]

〈研究テーマ〉 アカデミック・ライティング教育、日本語教育のための文法・談話研究
〈所属学会〉 日本語教育学会、専門日本語教育学会、日本文法学会、日本語日本文化教育研究会、日本語教育方法研究会、アカデミック・ジャパニーズ研究会、日本語／日本語教育研究会、中国語母語話者のための日本語教育研究会、ヨーロッパ日本語教師会、カナダ日本語教育振興会

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

- ・『ここがポイント！レポート・論文を書くための日本語文法』くろしお出版，2016年12月（論文）
- ・「大学間連携における Skype を用いた日本文化遠隔講義の試み」『日本語教育と日本研究におけるイノベーション及び社会的インパクト』（共著）2017年11月
- 〈口頭発表・講演・学会報告〉
- ・「自然な日本語で文章を書くためのコツ」泰日工業大学 特別授業 2016年11月
- ・『ここがポイント！レポート・論文を書くための日本語文法』の活用」第4回近畿地区教育集会ミニセミナー 2017年06月
- ・「中級～上級日本語学習者のための効果的なライティング教育を考える」マネジメント・アンド・コミュニケーションズ・コンサルタンシー株式会社教員研修 2017年07月
- ・「レポート・論文を書くための日本語文法とは？—『使える！』文法をめざして—」日本語サロン研修会 2017年08月
- ・「多文化共生と地域社会～外国人に日本語・日本文化を教える～」兵庫県いなみ野学園 2017年10月
- ・「魅力的な書評を書くには？」“Interlinking Linguistics and Literature -- A tool to ‘read’ Japanese literary texts” Jawaharlal Nehru University 2017年11月
- ・「日本語母語話者と日本語学習者の意見文におけるダロウと「と思う」の分析 —作文教育への応用に向けて—」第1回タマサート大学・大阪大学日本語教育ジョイントセミナー タマサート大学 2018年3月

[その他の活動]

〈学会活動〉 日本語教育方法研究会運営委員、日本語教育学会審査・運営協力員、アカデミック・ジャパニーズ・グループ幹事

〈社会貢献活動〉

大阪 YWCA 専門学校（日本語教師養成講座）講師

大和 祐子 (YAMATO Yuko) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語教育方法論Ia・Ib、日本語研究指導、日本語教育学総論

[研究活動]

〈研究テーマ〉日本語能力評価、非漢字圏日本語学習者による漢字の書字的認知処理

〈所属学会〉日本言語学会、日本語教育学会、小出記念日本語教育研究会、言語科学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・「フィリピン人日本語学習者のデータを基にした非漢字圏学習者向け語彙テストの開発と評価」『ことばの科学』30, 名古屋大学言語文化研究会
 - ・「日本語を母語としない実習生による日本語教育実習の意義と課題」『授業研究』15, 大阪大学日本語日本文化教育センター
 - ・「文字の認知メカニズムから考える漢字学習」『日本研究論集』15, チュラーロンコーン大学・大阪大学
 - ・「韓国人日本語学習者の漢字読み書き能力の特徴」『韓国日本言語文化學會・2017年度春季國際學術大會發表論文集』, 韓国日本言語文化學會
 - ・「非漢字圏日本語学習者の漢字認知のメカニズム」『CAJLE2016 Proceedings』, カナダ日本語教育振興会
 - ・「Facebookを通じたメイプル・プログラムの広報について」『授業研究』16, 大阪大学日本語日本文化教育センター
 - ・「韓国人日本語学習者の語彙知識と漢字の読み書き能力との因果関係の検討」『ことばの科学』31, 名古屋大学言語文化研究会
 - ・「多肢選択式の漢字読みテストにおける四種選択と二種選択の影響」『九州大学留学生センター紀要』26, 九州大学留学生センター
- 〈口頭発表・講演・学会報告〉
- ・「漢字読みテストにおける四種選択と二種選択の影響について」香港第11回国際日本語教育・日本研究シンポジウム(2016年11月19-20日・於 香港・香港公開大学)
 - ・「反応時間パラダイムを用いた韓国語の言語事象の検証について」朝鮮語教育学会第72回例会(2016年12月18日・於 九州大学)
 - ・「中国人日本語学習者の漢字語と外来語のオンライン処理」東華大学招待講演(2016年12月23-24日・於 中国・東華大学)
 - ・「한국어의 조사연속구성에 대한 허용도 와 인식 - 청각 제시 실험에 의한 한국어 모어 화자와 일본인 고급 학습자의 비교 -(韓国語의 助詞連続構造에 對する 許容度と 認識-聴覚呈示実験を用いた韓国語母語話者と日本人上級学習者の比較-)」제12회 한국 언어·문학·문화 국제학술대회(第12回韓国言語・文学・文化國際學術大會)(2017年1月9-10日・於 同志社大学)
 - ・「韓国人日本語学習者の漢字読み書き能力の特徴」韓国日本言語文化學會・2017年度春季國際學術大會(2017年5月20日・於 韓国・世宗大学校)

- ・「조사 결합형태의 허용도에 대하여- ‘에’와 ‘가’가 결합한 형태를 중심으로-(助詞結合形態の許容度について- ‘에’ と ‘가’ の結合形態を中心に-)」ICKL20 The 20th Meeting of the International Circle of Korean Linguistics(2017年6月28-30日・於 フィンランド・ヘルシンキ大学)
 - ・「中国人日本語学習者の人を表す接尾辞の派生語習得に影響する要因」第1回中日大学学術交流会講演(2017年7月7日-9日・於 中国・天津外国語大学)
 - ・「非漢字圏日本語学習者の漢字認知のメカニズム」CAJLE2016(2017年8月16-17日・於 カナダ・カルガリー大学)
 - ・「漢字の書字的認知処理—非漢字圏と漢字圏の日本語学習者の比較—」第28回第二言語習得研究会(JASLA)全国大会(2017年12月16-17日・於 お茶の水女子大学)
 - ・「中上級非漢字圏学習者の漢字の書字的認知処理の特徴」第1回タマサート大学・大阪大学日本語教育ジョイントセミナー(2018年3月23日・於 タイ・タマサート大学)
〈研究助成〉
 - ・平成28年度～30年度科学研究費補助金若手研究(B)「非漢字圏学習者の漢字語彙学習の成功に影響する要因の解明：効果的な学習支援のために」(研究代表者：大和祐子、課題番号：16K21145)、研究代表者
 - ・平成27年度～29年度科学研究費補助金挑戦的萌芽研究「反応時間測定による韓国語助詞の文法現象に関する研究：母語話者と学習者の認識検証」(研究代表者：小島大輝、課題番号：15K12877)、研究分担者
- [その他の活動]
- 〈学会活動〉 小出記念日本語教育研究会編集委員
- 〈社会貢献活動〉 大阪YWCA 専門学校「日本語教師養成講座」講師

高井 美穂 (TAKAI Miho) 講師

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 日本語教育学基礎論

[研究活動]

〈研究テーマ〉 日本語の会話分析

〈所属学会〉 日本語教育学会、社会言語科学会、日本語プロフィシエンシー研究学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・「日本語の友人同士の雑談における価値観に関するやりとりの開始」『社会言語科学会第40回大会発表論文集』社会言語科学会 184-187
〈口頭発表・講演・学会報告〉
- ・「日本語母語話者の雑談における価値観を述べ合う行為の会話分析—人間関係構築のための会話教育を目指して—」第1回タマサート大学・大阪大学日本語教育ジョイントセミナー (2018年3月23日、於タマサート大学東アジア研究所)

〔日本文化学〕

加藤 均 (KATO Hitoshi) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 日本文化学研究総論、日本文化研究指導、比較思想研究I、比較思想特別研究

[研究活動]

〈研究テーマ〉 近世・近代日本における仏教改革者の思想

〈所属学会〉 日本印度学仏教学会、日本宗教学会

[研究業績]

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・「日常仏教語が描き出すもう一つの日本」, JNU International Seminar: Interlinking Linguistics and Literature (ジャワハルラール・ネルー大学), 2017年11月
- ・「日本仏教を理解する視座 — 『行』の意味を考える—」, 大阪大学・チューラーロンコン大学合同学術交流会 (チューラーロンコン大学), 2017年08月
- ・“Teaching Japanese Studies Courses in Japanese to International Students”, The Second Annual Symposium : Japan in the World and the World in Japan (大手前大学), 2016年12月
- ・『『日本仏教』(1912)に見られる井上円了の仏教史観」, The 11th International Symposium for Japanese Language Education and Japanese Studies (香港公開大学), 2016年11月

[その他の活動]

〈管理運営〉 日本語日本文化教育センター副センター長

〈学会活動〉 日本印度学仏教学会理事、第6回大阪大学日本語・日本文化国際フォーラム実行委員長

水田 明男(MIZUTA Akio) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 日本経済入門、経済書購読、経済学報告の仕方、論文作成指導

[研究活動]

〈研究テーマ〉 ロシアにおける社会政策

[研究業績]

〈論文〉

- ・「ロシアにおける社会政策—年金改革の課題と展望」立命館経済学第65巻第5号2017年3月

五之治 昌比呂 (GONOJI Masahiro) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉比較文学特別研究 A・B、比較文学研究IIA・IIB、日本文化研究指導 A・B

[研究活動]

〈研究テーマ〉日本における西洋古典の受容

〈所属学会〉日本比較文学会、日本西洋古典学会

[その他の活動]

〈管理運営〉日本語日本文化教育センター総務委員会副委員長、施設マネジメント委員会委員

〈社会貢献活動〉朝日カルチャー川西教室講師

岩井 茂樹 (IWAI Shigeki) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉比較文化学特別研究、日本文化研究指導、比較文化研究

[研究活動]

〈研究テーマ〉日本的美的概念研究、視線文化研究、短詩型文化研究

〈所属学会〉日本語教育学会、日本語日本文化教育研究会

[研究業績]

〈研究助成〉

- ・研究代表（単独）「概念形成過程の分類と法則性および諸言語への汎用性の研究」日本学術振興会科学研究費：研究期間：2015年4月 - 2017年3月

[その他の活動]

〈学会活動〉日本語日本文化教育研究会運営委員

佐野 方郁 (SANO Masafumi) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉比較社会研究、日本文化研究指導、日本歴史学特別研究

[研究活動]

〈研究テーマ〉倉富勇三郎日記研究、近現代日本の国際関係に関する研究、戦後日本の史学史に関する研究

〈所属学会〉史学研究会、日本国際政治学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・「明治期の仏骨奉迎・奉安事業と覚王山日蓮寺の創建—各宗派機関誌と地方・宗教新聞の分析を中心に—」、『日本語・日本文化』第45号（2018年3月）

〈書評・論評・紹介〉

- ・『角倉素庵』を読む」、林屋辰三郎『角倉素庵』（吉川弘文館、2017年7月）

〈研究助成〉

- ・科学研究費助成「明治・大正期の覚王山日暹寺に関する史的研究」（2015年4月～2018年3月）

[その他の活動]

〈社会貢献活動〉大阪YWCA日本語教師養成講座講師、京田辺市史編さん専門部会会員

柴田 芳成 (SHIBATA Yoshinari) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本文学特別研究、日本文学研究II、日本文化研究指導

〈学部教育担当科目〉日本文学史

[研究活動]

〈研究テーマ〉日本古典文学

〈所属学会〉説話文学会、仏教文学会

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

- ・神戸説話研究会編『近世寺社伝資料『和州寺社記』・『伽藍開基記』』和泉書院（2017年02月）

〈論文〉

- ・『和州寺社記』の一つ書き記事—縁起書から地誌へ—『国語国文』第86巻5号（2017年5月）
 - ・「藤原道長の衣替えの和歌」『日本語・日本文化』第45号（2018年3月）
- 〈口頭発表・講演・学会報告〉
- ・『和州寺社記』の「名所」への意識—一つ書き記事より—『仏教文学』第42号（2017年4月）

[その他の活動]

〈管理運営〉日本語日本文化教育センター学務委員

〈学会活動〉日本語日本文化教育研究会運営委員

松村 薫子 (MATSUMURA Kaoruko) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉比較思想研究IIA、比較思想研究IIB、日本文化研究指導A、日本文化研究指導B

〈共通教育担当科目〉

[研究活動]

〈研究テーマ〉袈裟や素材にまつわる怪異伝承研究、絵本や漫画にみられる妖怪の表象についての研究

〈所属学会〉 日本民俗学会、現代民俗学会、日本宗教学会、比較日本文化研究会、日本語
日本文化教育研究会、密教図像学会、京都民俗学会

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

- ・共著『フェティシズム研究 第3巻 侵犯する身体』（第7章「袈裟の裂に対するフェティシズム—金襴袈裟と糞掃衣の裂をめぐる—」）京都大学出版会、2017年6月
- ・共著『일본 문화의 현장과 현재』（第三部「금란가사의 전개（金襴袈裟の展開）」）翻訳者・金素正）민속원、2018年2月

〈論文〉

- ・「慈雲の袈裟研究と実践の意義」『濱下昌宏先生退職記念論集—日韓美学研究会と歩んで』濱下昌宏先生退職記念論集編集委員会、2016年12月
- ・「衣服に現れる怪異—「襟」と「裾」の考察を中心に—」『日本語・日本文化研究』26号、2016年12月
- ・「現代における伝承の継承と変化—日本の河童伝承を中心に—」『日本研究論集』第15号、2017年4月
- ・「「日本民俗学入門」「日本民俗学」講義における取り組み」『授業研究』第16号、2018年2月

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・「妖怪地域おこしにおける 怪異・妖怪伝承データベースの活用」国際日本文化研究センターシンポジウム「妖怪データベースからの創造—公開記念15周年記念シンポジウム」パネリスト発表、2017年7月29日

[その他の活動]

〈学会活動〉 比較日本文化研究会運営委員、日本語日本文化教育研究会事務局

水野 亜紀子 (MIZUNO Akiko) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 日本文学研究、日本文化研究指導

〈学部教育担当科目〉 日本語文化学演習、日本文学演習

[研究活動]

〈研究テーマ〉 日本近代文学

〈所属学会〉 日本近代文学会、大阪大学国語国文学会

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

- ・「「雪の日」の伯母」『論集樋口一葉V』（樋口一葉研究会編、おうふう、2017年3月）

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・「「大つごもり」—お峯の「口惜しさ」について—」（樋口一葉研究会、2017年6月3日）

[その他の活動]

〈学会活動〉 大阪大学国語国文学会運営委員、樋口一葉研究会運営委員

永原 順子 (NAGAHARA Junko) 助教

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 日本文化学研究総論、比較文化研究IIAB

〈共通教育担当科目〉 世界の中の日本語日本文化

〈学部教育担当科目〉 日本文化学概論、日本事情演習 a、日本文化学講義IIIab、日本文化学演習IVab、日本語 1、日本語 14、日本語 1b

[研究活動]

〈研究テーマ〉 日本文化論、宗教民俗学

〈所属学会〉 日本宗教学会、京都民俗学会、岡山民俗学会、土佐民俗学会、日本高専学会、水難学会、日本伝統音楽研究センター研究会、比較日本文化研究会

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

- ・共著、「擬人化の原点について—見えないものを「見る」こと—」、永原順子、『進化する妖怪文化研究』、せりか書房、p.324~336、2017年10月

〈論文〉

- ・「機械工学と地域文化学の融合を目指して」、永原順子、赤松重則、『日本高専学会誌』、第22巻、p41~45、2017年10月
- ・「土佐のカップ伝承について」、永原順子、『岡山民俗』、238号、p.47~57、2017年12月
〈口頭発表・講演・学会報告〉
- ・水難学会国際ワークショップ Uitemate2017、基調講演、FAITH VILLAGE RESORT (Boracay, Philippines)、2017年11月3日
- ・Uitemate 国際指導員養成講習会および国際ワークショップ、講演、Mount Lavinia Beach (Mount Lavinia, Sri Lanka)、2018年3月4日

〈研究助成〉

- ・基盤研究 (B) 「日本発の防災教育 uitemate の ASEAN 地域を中心とした普及状況調査」2017年度~2019年度、研究分担者
- ・共同研究「学際的視点を持たせる地域連携教育研究」、株式会社坂本技研、2017年11月~2018年10月

〈調査活動〉

[その他の活動]

〈管理運営〉 入試委員会委員、日本語日本文化専攻委員会 (学務専門部会委員)

〈学会活動〉 比較日本文化研究会理事

〈社会貢献活動〉 「能入門」出張講義

<マルチリンガル・エキスパートプログラム>

後藤 篤 (GOTO Atsushi) 特任助教

[教育活動]

<学部教育担当科目> 英米文化Iab (C)、英米文化IIab (C)

[研究活動]

<研究テーマ> 英語圏文学、現代アメリカ文学におけるマルチリンガリズム、ウラジーミル・ナボコフ

<所属学会> 日本アメリカ文学会、日本アメリカ文学会関西支部、日本英文学会、日本英文学会関西支部、日本アメリカ演劇学会、日本ナボコフ協会、日本ポー学会、大阪大学言語社会学会

[その他の活動]

<管理運営> 大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラム運営協議会委員

<台湾研究講座（台湾言語文化課程発展プロジェクト）>

田上 智宜 (TANOUE Tomoyoshi) 特任助教

[教育活動]

<学部教育担当科目> 言語文化教育論、地域秩序論、中国語

[研究活動]

<研究テーマ> 台湾多文化主義、エスニシティ論

<所属学会> 日本台湾学会、アジア政経学会